
童心に帰った遊び・レクリエーションの学習

～高齢者地域リーダー研修会が開催されました～

本研修会は、新しく単位クラブの会長になった方や今後活躍が期待される若手リーダー等を対象に、高齢者の現状や老人クラブの役割、運営にあたってのポイントなどについて学び、今後の活動に生かしてもらおうと県老連が毎年開催しています。本年度も2月4日の南部ブロック（牟岐町）を皮切りに、県内3ブロック（徳島市，つるぎ町，牟岐町）で実施，87名が参加しました。



研修会はまず，県老連から高齢化の状況や高齢者をめぐる様々な課題（社会保障＜医療や介護等＞や地域における高齢者の孤立などの課題），会員の加入促進をはじめとする老人クラブの諸課題，補助金の仕組みなどを説明。

特に会員増強の問題では，高齢化が進む地域社会において，閉じこもりや孤立化の防止，次世代育成支援など老人クラブが果たす役割は多く，高齢者が安心して生活できる地域づくりに欠かせない存在であることを共通の認識とすること，全老連で策定された「100万人会員増強運動」を受け，県老連で提唱された2つの運動（「老人クラブ会員増強運動」「新）単位クラブ活性化推進運動」）について説明し，5年間で5万人の目標を達成できるよう協力をお願いしました。

後半は昨年度に引き続き，徳島県レクリエーション協会の 小西 佳昭 常務理事を迎えて，定例会や集まりの場を和やかなものにする，各種レクリエーションゲームを紹介してもらいました。今回は特に，脳に五感からの刺激を与え続け，刺激に対して発声や動きを行うことで脳を活性化する「シナプソロジー」を取り入れたメニューが紹介され，太ももをパーの右手ですりすりしながら，グーの左手でもう片方の太ももをトントンとたたき，合図で左右を入れ替える「すりすりトントン」や，後出しじゃんけんに計算（グーは10，チョキは20，パーは50）を入れ，じゃんけんの後で即座に足し算を行う「後出しじゃんけん足し算」など，悪戦苦闘しながらも笑顔で挑戦していました。また，後半には，パイプ椅子にタオルを敷き，離れたところからおじゃみを投げて，そののった数を競い合う「お手玉のせ」や，昨年度に続いてニュースポーツ「ラダーゲッター」が紹介され，童心に帰って各種目を楽しんでいた様子でした。

最後に小西先生から，折り込みチラシで作る紙鉄砲や牛乳パックを利用したブーメランなどがお土産として渡され，世代間交流などに活用して欲しいとされました。

